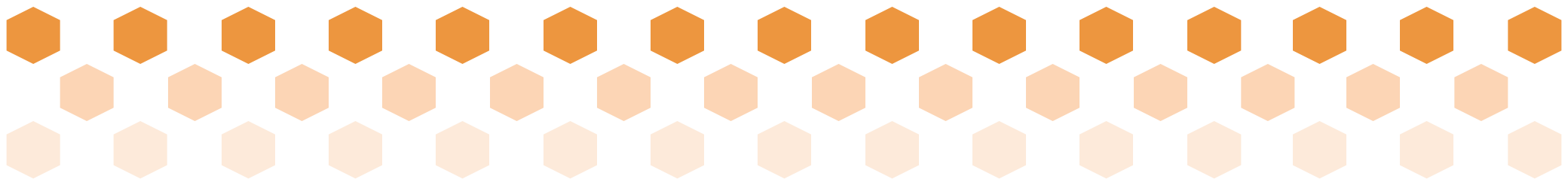


米の先物取引の現状について



2026年5月

農林水産省
新事業・食品産業部

米の先物取引をめぐる主な動き

平成17年

12月9日	東京穀物商品取引所が3年間の試験上場の認可申請
12月16日	関西商品取引所が3年間の試験上場の認可申請

平成18年

4月12日	試験上場を不認可
-------	----------

平成23年

3月8日	東京穀物商品取引所及び関西商品取引所が2年間の試験上場の認可申請
7月1日	試験上場認可 ※8月8日から取引開始

平成25年

2月12日	米の試験市場を大阪堂島商品取引所(旧関西商品取引所)に集約
7月8日	大阪堂島商品取引所が米の試験上場の延長を申請
8月7日	試験上場期間の2年間の延長を認可

平成27年

7月21日	大阪堂島商品取引所が米の試験上場の再延長(2回目)を申請
8月6日	試験上場期間の2年間の再延長(2回目)を認可

平成29年

8月4日	大阪堂島商品取引所が米の試験上場の再々延長(3回目)を申請
8月7日	試験上場期間の2年間の再々延長(3回目)を認可

令和元年

7月29日	大阪堂島商品取引所が米の試験上場の再々々延長(4回目)を申請
8月7日	試験上場期間の2年間の再々々延長(4回目)を認可

令和3年

7月16日	株式会社大阪堂島商品取引所が米の本上場を申請
8月6日	本上場申請を不認可
8月7日	米の試験上場期間の終了 ※令和5年11月20日 取引終了

令和6年

2月21日	株式会社堂島取引所が米穀指数の本上場の認可申請
6月21日	本上場申請を認可
8月13日	米穀指数の取引開始

「堂島コメ平均」 3つの特徴

01



「全国の平均米価」 を予想

取引対象は
全国の100を超える銘柄米の
将来の平均米価

02



米のやりとりのない 「現金決済」

現物の米を準備したり受け取ったりする
必要がないので
幅広い人の参加が可能

03



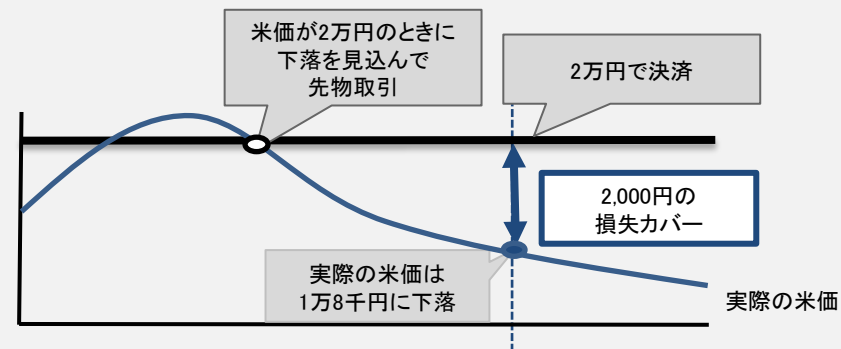
相対取引価格を 基にした 「指数」で最終決済

最終日には「現物コメ指数」
(当月の米の相対取引価格を推計した値)
を基にした数値によって決済



米価変動リスクへの備えとして

実際の米の現物価格が下落(または上昇)したとしても
あらかじめ先物市場で取引をしておくことで
損失をカバー(リスク回避)することができます



将来米価の見通しとして

先物市場では、将来の米価について取引を行うため
米価の見通しを示す灯台的な役割を果たします

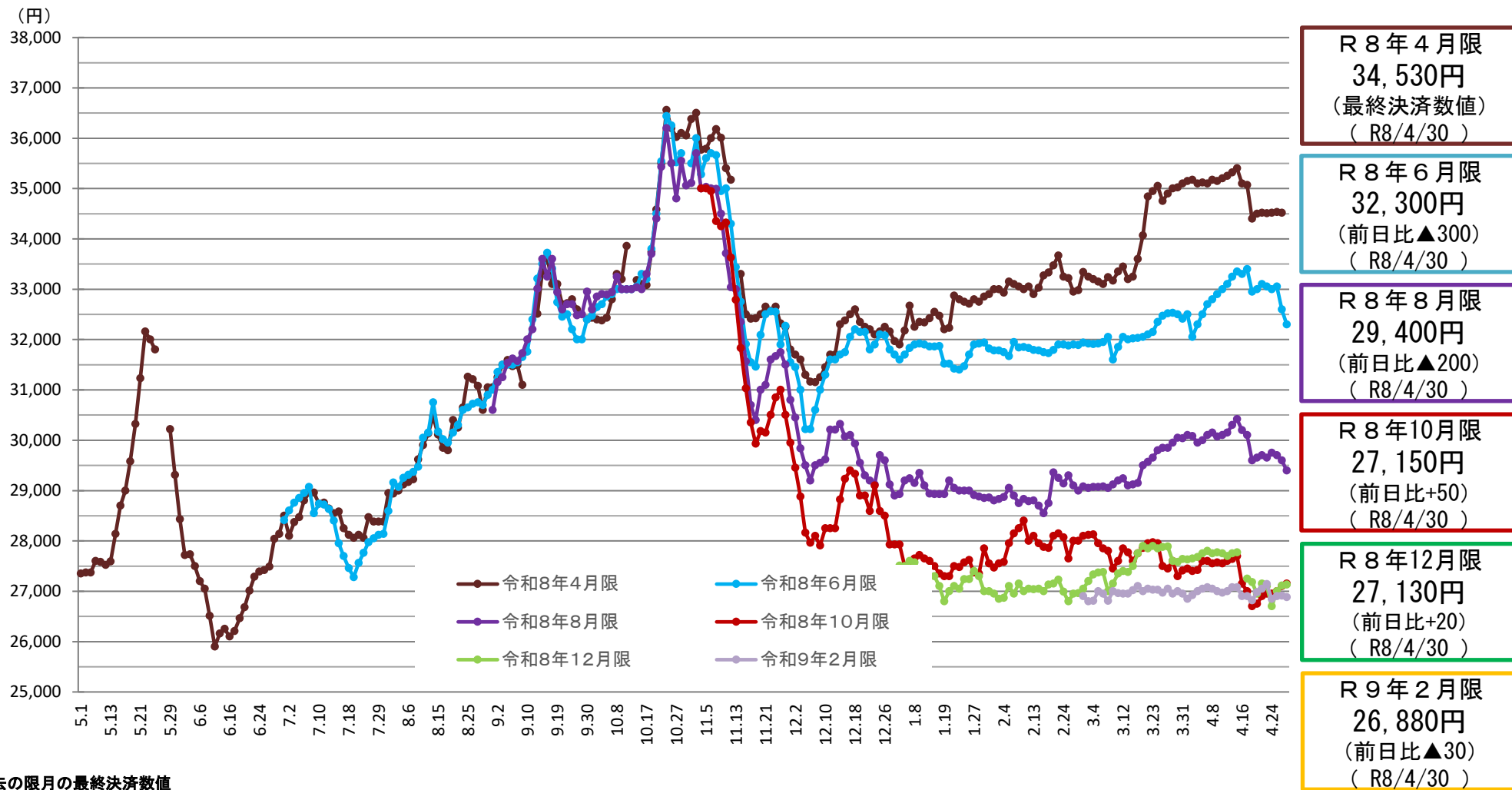


△月には〇〇〇円になりそうなんだな



米の先物価格の推移について

○価格の推移（各限月の終値）



過去の限月の最終決済数値

R7年2月限: 27,240円(R7.2.28)
 R7年4月限: 26,330円(R7.4.30)
 R7年6月限: 28,450円(R7.6.30)
 R7年8月限: 27,680円(R7.8.29)
 R7年10月限: 40,570円(R7.10.31)
 R7年12月限: 37,810円(R7.12.30)

R8年2月限: 36,270円(R7.2.27)
 R8年4月限: 34,530円(R8.4.30)

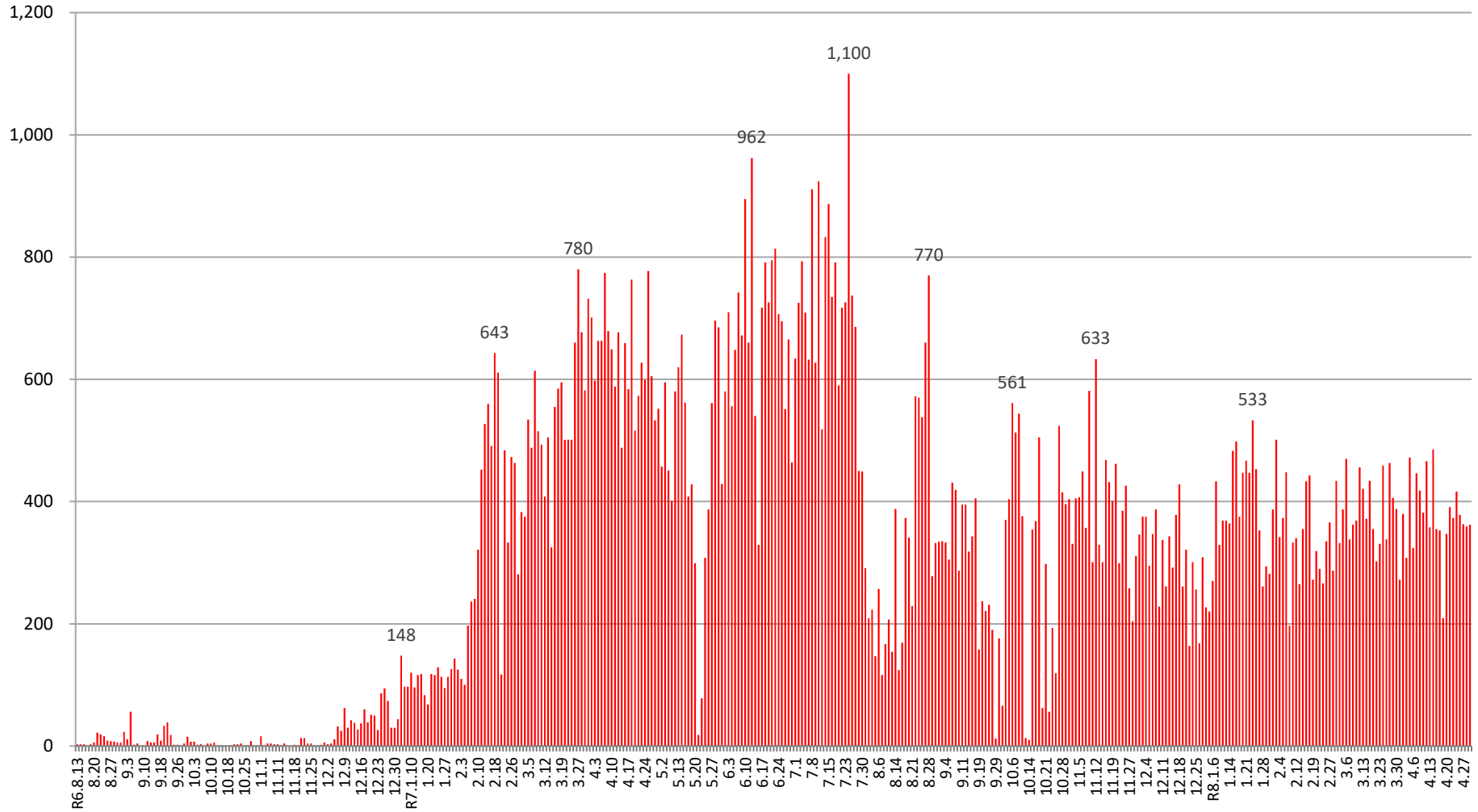
米の先物取引の出来高の推移について

4月の一日あたり平均出来高378枚（出来高合計7,945枚）

取引開始（令和6年8月）から一日あたり平均出来高324枚（出来高合計135,433枚）

（枚）

■ 米穀指数



注1: 出来高とは、市場において成立した売買契約の数。

注2: 米穀指数は1枚3トン。